

正男氏被害 1人釈放 7
GAP米の酒 初輸出 10
若元春十両、初白星 18
小林陵W杯総合V 20
お悔やみ 14 窓 23 小説 8 暮・将棋 8

発行所 福島市柳町4-29
郵便番号 960-8648
福島民友新聞社
電話代表 (024) 523-1191
編集局 (024) 523-1390
販売局 (024) 523-1472
振替口座 02180-8-5070
©福島民友新聞社 2019

2019年(平成31年)
3月12日(火曜日)
旧暦2月6日 先勝 六白

福島民友

THE FUKUSHIMA MINYU



悲しみ今なお

巨大地震と大津波が本県を襲った東日本大震災から、11日で丸8年を迎えた。時計の針が午後2時46分を指すと、被災地の海岸や街では、人々が静かに手を合わせ、鎮魂の祈りをささげた。

東日本大震災から8年

ひとむきな県民の思いと努力で復興は前進を続けているが、震災、東京電力福島第一原発事故という未曾有の災害の爪痕は残る。4万人以上の県民が避難生活を強いられ、家族や友人を失った被災者の心から悲しみが消えることはない。

除染などの取り組みで空間線量は原発事故発生時と比べ大幅に減少。中間貯蔵施設への除去土壌の搬入は、対象23市町村のうち23市町村の旧避難指示区域に戻った住民の割合(帰還率)は全体で23%にとどまる。住民帰還の動きは鈍いままだ。

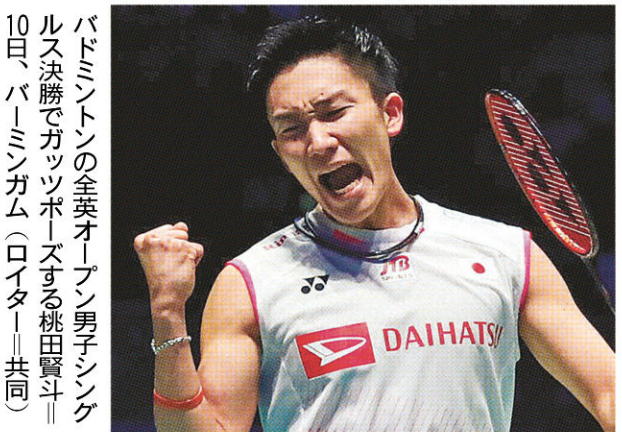
風評・風化の問題、溶け落ちた核燃料(デブリ)の取り出しや汚染水対策など難題が残る福島第一原発の廃炉作業など、復興のゴールはまだ見えない。ただ、それでも県民は9年目に向けて、歩みを進める。国内有数のサッカー施設「Jヴィレッジ」(楡葉、広野町)は、4月20日に全面再開する。復興の道を歩む福島県民の姿をアピルする日になる。

「手と手をつなげ、ほくら／＼夢はゆめ／＼虹をかけた。」。福島市在住の詩人、和合亮一さんが作詞を担当した浪江町のなみえ創成小・中の校歌の1節。県民が震災、原発事故の悲しみを忘れず、夢や希望を抱きながら、共に歩む先に復興の明かりがともる。(渡辺哲也)

震災8年	
妻の分まで生きる	2
励まし糧に前へ	2
涙雨 静かな祈り	3
あの日と思う	4
秋篠宮さま お言葉	5
どうぞ安らかに	25
愛する故郷よ	26
慈しむ心胸に	27



東日本大震災の津波で県内最多636人の尊い命が奪われた南相馬市。震災が起きた2011年に生まれた鹿島小1年の尾賀一颯君(7)左は、母江美さん(46)と今夏に9年ぶりの再開を控える北泉海水浴場で津波犠牲者に黙とうをささげた=11日午後2時48分、南相馬市原町区・北泉海水浴場(渡辺晃平撮影)



桃田、全英OP初制覇

【バミントン男子】共同 バミントン男子シングルスで世界ランキング1位の桃田賢斗(NTT東日本、富岡高等)が10日、英国のバミントンで行われた第109回全英オープンで優勝した。伝統の大会で同種目の日本勢で初の快挙。昨夏の世界選手権制覇に続くタイトル獲得となった。【18面に関連記事】

天気は2面

◇おことわり 東日本大震災8年報道のため、4面の「マイストーリー」は休載しました。地域版は「総合版」としました。

セン(デンマーク)を21で破った。全英オープンでは1977年に世界選手権が始まるまでは世界一を争った大会。5月から本格化する2020年東京五輪出場権争いに弾みをつけた。



東日本大震災による津波で亡くなった夫の鈴木雅悦さん=当時(74)=の名前が刻まれた慰霊碑の前に鎮魂の祈りをささげる妻宣子さん(75)左=11日午前10時5分ごろ、南相馬市原町区・北泉公会堂(渡辺晃平撮影)

東日本大震災 県内の被害	
発生	2011年3月11日 午後2時46分
規模	マグニチュード9.0
最大震度	6強
死者	4,097人 直接死 1,605人 震災関連死 2,268人 その他 224人
避難者*	4万1299人 県内 8,655人 県外 3万2,631人 不明 13人
住宅被害	全壊 1万5,435棟 半壊 8万2,783棟

*避難者は災害救助法に基づき、仮設住宅や借り上げ住宅などに入居している人

編集日記

降り注いだ雨粒は涙雨だったのだろうか。3月11日は、天候一つからでもささげまなものを想い起こさせた。8年前のあの日に起こったこと、これまでの生活の歩み、そして震災前の思い出の日々も。東京電力福島第一原発事故で全県避難を経験した飯館村は、昨年から3月11日を「あたりまえをありがたむ」という一日に制定している。避難指示が解除されて村に帰った住民が「何でもない」と思った村の生活が本当に大事なものだったと語ったことがきっかけだ。村は今、ありふれた日常を幸せと感じたエピソードを募集した。都会に出た学生が古里の自然の素晴らしさに気付いた話や、婚約者に「ありがた」と言われる喜びを語った作品など約100点が集まった。▼村民は作品で「原発事故で失ってしまったものは、元へは戻りません」と記す。しかし「村民が今までのように、村を愛する心があれば、時間はかかるかも知れませんが、また美しい村、飯館村が生まれます」と言葉が紡がれる。▼菅野典雄村長は「3月11日を忘れない」とも、人としての心の持ち方を考え直すきっかけになってほしい」と話す。思い出を胸に今をしつかり生きる。次の3月11日が刻まれていく。(2019.3.12)



キティちゃんのニュースを探せ!

スピードスケートのW杯女子1500mで、従来の記録を1秒02更新する1分49秒83の世界新記録をマークした選手は?

◆きょうの紙面のどこかに、答えが分かる記事があります。

3月26日(5月6日)
県立美術館
前売り券発売中

若冲

東日本大震災復興祈念展

お花や多肉植物、苔を使った雑貨づくりと販売知識が学べる!

花と緑の雑貨づくり

●多肉植物の「寄せ植え」、かわいい「苔玉」、切り花の「ブーケ」、ドライフラワーの「リース」や「ハーバリウム」などインテリア植物雑貨の作り方が学べる! 植物を長く楽しむ方法やドライ花材・プリザーブド花材の作り方も。オリジナル作品の販売、教室開講の方法も学べてあなたもプロ作家に!!

あなたも「植物雑貨クリエイター」の資格が取得できる!

講座修了時には、植物雑貨作りに必要な知識と技能を身につけた証明「植物雑貨クリエイター」資格を日本園芸協会が認定いたします。

03-3465-5170 FAX 0120-161-418
〒151-8671 東京都渋谷区元代々木町14-3
日本園芸協会 民友SC 722-22係
www.happy-semi.com/s/8588

特典つき案内書 無料進呈

※電話・FAX(保名明記)ネットからお気軽に請求ください。

※日本園芸協会では、お客様の個人情報厳重に管理しています。また電話でのセールスは一切行いませんので、安心して案内書をご請求ください。

婦人公論

本日発売 3/26号

女の悩みも、輝きも。 定価570円(税込)

江原啓之さんがみじく亡くした哀しみを引きずらないために

杉田かおる×江原啓之

破天荒な母が美しい「仏さま」になって 須藤理彩 あれから22年、没イチさんが元氣を取り戻したのはいつ? ペットロスがこれほど辛いとは! 樹木希林さんが教えてくれた命とは!

新連載 小林幸子「ラスボスの称号も山内恵介 結城は40歳になっちゃう?」

追悼 橋本治さん「非凡な知力とこころを編んで 姫野カオルコ」

追悼 瀬戸内寂聴×ドナルド・キーン

私は見た! 女の修羅場 困った女ランキンク / 読上相談室・心屋に之助 湯山玲子

「皇室日記」元プロデューサーが綴る 天皇陛下のまなざし 入江和子

※定期購読は書店へお申し込みください。当社から毎月発送もできます。当社定期購読窓口は、03-5299-1808 www.fujinkoron.jp/ 中央公論新社